

事務事業名	中山間地域等直接支払制度	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
政策名	総合計画体系 (V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》	所属G	農業生産グループ	課長名	高野 耕治
施策名	(33)農業の振興	担当者名	福間 伸英	電話番号 (内線)	0854-40-1051 3703
基本事業名	(096)生産基盤の整備・保全	予算科目	会計 款 項 目 中事業	中山間地域等直接支払制度交付金	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ (いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22年度~26年度)	耕作放棄の増加等により多面的機能の低下が特に懸念されている中山間地域等において、担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、多面的機能を確保する観点から、協定を策定した者に中山間地域等直接支払交付金を交付する。	平成12年度から始まった国の施策に基づく事業である。農業生産活動を継続し農地を保全することにより農地が持つ多面的機能を維持していくことを目的として、中山間地域の農地に対し地域との生産コスト差に相当する交付金を交付する農政史上初の制度である。

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	中山間地域は平地に比べ傾斜地が多いなど、生産条件が不利なため、傾斜地に応じ交付金を交付する。 218協定(集落215、個別3)に対する交付金 318,423千円	事業費	国庫支出金	千円	176,961	157,923	159,211	161,000	161,000	816,095
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	①協定書作成・指導事務②交付金交付事務 ③協定書履行確認事務	事業内訳	県支出金	千円	88,480	78,961	79,605	80,500	80,500	408,046
			地方債	千円						
			その他	千円						
			一般財源	千円	88,488	78,963	79,607	80,500	80,500	408,058
			事業費計(A)	千円	353,929	315,847	318,423	322,000	322,000	1,632,199
		人件費	正規職員従事人数	人	7	7	7			
			延べ業務時間	時間	4,480	4,480	4,480			
			人件費計(B)	千円	17,087	17,418	17,660	0	0	
			トータルコスト(A)+(B)	千円	371,016	333,265	336,083	322,000	322,000	1,632,199

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	①主な活動	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤活動指標							
	事務推進、交付金事務	ア 協定対象面積	ha	2,288	2,288	2,288	2,288	2,288	2,288
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	イ 交付金額	千円	353,929	315,847	318,423	320,000	320,000	320,000
	平成23年度と同様	ウ 協定集落	集落	233	217	218	218	218	218
		エ							
		オ							

目的	②対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(目標)	25年度(目標)	最終(目標)
	・傾斜のある農地 ・対象集落	⑥対象指標							
	③意図(対象がどのような状態になるのか)	ア 協定面積	ha	2187	1,996	2,010	2,020	2,020	2,020
	・対象集落が協定を締結して集落内農地を5年間以上維持してもらう。	イ 対象集落	集落	233	523	523	523	523	523
上位目的	④結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑦成果指標							
	・農業所得の向上	ア 協定集落	集落	233	217	218	218	218	218
		イ 協定集落のカバー率	%	44.19	41.49	41.68	41.68	41.68	41.68
		ウ							
		⑧上位成果指標							
		ア 市内の農業所得総額	億円	▲ 3.2	▲ 3.4	▲ 2.3	▲ 2.6	▲ 2.6	▲ 2.6
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

①事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	②この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているのか?
中山間地域における農業経営の不利性により農業従事者の減少や農地の荒廃化が進展しているが、事業導入により耕作放棄地の発生が抑制されたり、集落ぐるみでの農業経営に発展する集落が増えつつある。	集落協定に記載されている計画を確実に実行してもらうことにより、耕作放棄地の減少、多面的機能を確保され、農地の荒廃を防ぐことができた。	・農地の荒廃を防ぎ、国土保全や地域環境保全に貢献した。(協定集落内農業者) ・集落ぐるみの農業を考える契機となった。(協定集落内農業者) ・事業継続の要望(議会・JA・協定集落内農業者)

事務事業名	中山間地域等直接支払制度	所属部	産業振興部	所属課	農林振興課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 ↷ 本事業を実施することにより、集落内の農業生産基盤の維持及び農業経営の継続が図られ、農業・農村の多面的機能の維持・向上と農業の振興に結びついている。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 ↷ 関係法令等により市が予算を計上し事業を実施することが義務付けられている。また国土の保全及び中山間地域集落における農業振興を図ることは市の重要施策である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 ↷ 農用地の制限はあるが、市内全域が対象となっており適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 ↷ 集落協定に記載されている計画を確実に実行し個々の集落が抱える課題の解決を図ることが必要であり、集落の更なる計画的な実践活動による成果向上の余地はある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 ↷ 事業を廃止した場合、農業経営の継続が危ぶまれると同時に、農地の荒廃化が加速することが危惧される。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ↷ 類似事業としては、農地・水・環境保全向上対策があるが、事業の趣旨が異なっているため、現在の棲み分けを整理した推進が引き続き必要である。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 関係法令等により全国統一の交付単価が定められているため削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 ↷ 協定の変更、農地の確認、収支報告書の作成支援など、年間を通じ各総合センターの協力を得ながら実施している。事務が複雑なため現状の体制を維持しつつ集落支援を行わなければ協定実施集落が制度についていけなくなる可能性があるため、削減の余地はない。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 ↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 ↷ 制度上の制限はあるが市内の全集落が対象となっており、公平・公正である

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	国に準拠しているため、制度を見直し余地はない。しかし、限られた交付金を活用していく上で、有効な活用方法を集落単位で実践してもらうことにより、協定で定めた以上の成果の向上が見込める。また、そのためには関係機関が一体となった指導の強化を図る必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																									